

数字で見る三芳町の図書館

平成25年度は503,992冊の貸し出しがありました。利用者数も延べ141,783人と多くの住民に利用されていることがわかります。

10年連続県内1位を維持

平成25年度の中央図書館の1日平均貸出数は1,622点。竹間沢分館の1日平均貸出数は131点です。人口1人あたりの貸出数は埼玉県内で1位で、10年間1位を維持し続けています。

■人口1人あたりの貸出数

順位	市町村	冊数
1位	三芳町	12.66
2位	宮代町	11.47
3位	鶴ヶ島市	8.87
4位	小川町	8.11
5位	ふじみ野市	7.94

ベストリーダー TOP3

平成25年度、多く貸し出しされた人気の本をベストリーダーとして紹介します。

■一般書

順位	書名	著者	貸出回数
1位	ナミヤ雑貨店の奇蹟	東野圭吾	144
2位	色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年	村上春樹	133
3位	夢幻花	東野圭吾	131

■児童書

順位	書名	著者	貸出回数
1位	だるまさんが	かがくいひろし 作	170
2位	アリのおでかけ	西村敏雄 作	137
3位	ぐりとぐらのおおそうじ	なかがわりえこ 文 やまわきゆりこ 絵	127

考えられるメリット(一例)

講師のメリット

地元の住民に知ってほしいことを直接伝える機会。企業イメージアップにもつながる。

地元企業

専門的な知識・技術を持つ
地域住民

講師のメリット

人に喜んでもらえることが自身のやりがい、生きがいになる。社会貢献できる場。

主催者のメリット

予算をかけずに住民に質の良い講座を提供できる。図書館の利用者アップにつながる。

大人のための図書館講座

図書館や講座をよく利用している住民

参加者のメリット

日頃の読書の質が上がり、知識や技術もより深まる。

図書館を利用していなかった住民

参加者のメリット

講座で本を借りたことがきっかけに図書館の利用者になる。

前回違う分野の講座を受けた住民

参加者のメリット

今までとは違う分野にも興味を持つようになり、知識の幅が広がる。

気がつけば三芳の生涯学習の輪の中に
三芳に住む人の力を活かして、三芳ならではの企画を行うことで、住民の『知識と文化の連鎖』が起ります。高齢社会、ストレス社会といわれる現代、余暇を充実させることは社会的課題であると言われています。大人のための図書館講座は、住民の余暇の充実の手助けになるとともに、町全体の知識、文化の質を高め、いつまでも楽しく学ぶことができる「生涯学習」への自然な流れを作り上げているのです。今後も、図書館ではさまざまな講座を開催していきます。ぜひ一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

※1月開催の大人のための図書館講座はP10の図書館だよりをご覧ください。



Motto 知りたい 楽しみたい

- 大人のための図書館講座 -



教育だより

問い合わせ
中央図書館 ☎ 049-258-6464



新しい世界が広がる 図書館講座で

大人のための図書館講座は、住民に身近な場所です。ひとりの癒しの時間を過ごしてほしい、役立つ情報を得てほしいという思いで、3年前から実施しています。昨年開催された講座の一例を紹介すると、朗読会、ストーリーテリング、落語を楽しむ会、南京玉すだれ、フルート、サクソスなどのミニ演奏会、健康・医療講座など、一見すると図書館とは関係のない内容に思えますが、そう

住民の興味関心に合わせた独自の講座

図書館では、子どもたちに本の楽しさ、面白さを伝えるため「ブックスタート・ブックスタートプラス」「読み聞かせ」など、さまざまな事業を行っています。しかし、図書館の開催する事業には大人向けの講座もあることをご存じでしょうか？それが「大人のための図書館講座」です。本の貸出状況や利用者の動向を見て、住民の興味、関心の高い内容を取り上げています。今回の教育だよりでは、大人のための図書館講座と、講座を受けることで広がる生涯学習の輪について紹介します。

参加費は無料 講師はボランティア

図書館講座の講師のほとんどはボランティア。三芳町に住む図書館にゆかりのある人、サークル活動で技術を磨いている人、専門的な知識や技術を持ちながら現役を引退した人などが、社会貢献として住民のために協力をしています。そのため、講座は無料で実施することが可能となっています。内容も質が高く、地元にあったものを提供しているため、参加者に好評で、はじめは自分の興味関心のある講座目当てだった人が、次回は別の分野の講座にも参加する姿がよく見られます。講師も参加者の反応を間近で見ることができ、やりがいと喜びを感じることがあります。

ではありません。

来場者との距離感が絶妙。素晴らしい舞台に感謝

ボランティア講師 伊東 久子さん

図書館協議会委員を平成18年から現在まで務める。図書館講座での玉すだれの披露は人を喜ばせたいからと自ら図書館司書に提案。

玉すだれを披露した時は、会場に入れなかった人が出るほど盛況でした。来場者との距離感が近いということで、大道芸本来の姿を見てもらえたと思います。お客さんの笑う瞬間が直にわかり、私たちもとてもやりがいがありました。こうして練習の成果を披露できる貴重な場をいただき、ありがたく思います。



「大人のための落語を楽しむ会」(H.26.2.2) ※落語と南京玉すだれ同時開催。

文化を大切にしてくれる三芳だからこそ還元したい

ボランティア講師 山形 康典さん



「大人のための落語に親しむ会」(H.24.1.13)

三芳町は文化を大切にしている、町を愛する人を愛してくれる町。そんな町が大好きで、何か自分も還元したいと思い、落語講座を開催しました。やるからにはクオリティの高いものを日々、妻を相手に練習に励んでいます。落語を学び、皆さんに披露し、喜んでもらえること全てが楽しく、今では私の生きがいになっています。

唐沢小学校の元校長。若かりし頃には落語のプロをめざしたことも。定年退職後、再び、本格的に落語を学んでいる。